



開幕まであと 170 日！

愛知県政記者クラブ
名古屋市政記者クラブ
豊橋市政記者クラブ
岡崎市政記者クラブ
中部芸術文化記者クラブ同時発表

平成 28 年 2 月 23 日（火）
愛知県県民生活部文化芸術課
国際芸術祭推進室事業第二グループ
担当：市川、浦野
電話：052-971-6127（ダイヤルイン）
県庁内線 724-680、724-681

あいちトリエンナーレ 2016 アーティスト派遣事業を実施します

あいちトリエンナーレでは、アートとの出会いを通じてより多くの子どもたちの感性や創造性の成長に働きかけるため、学校等団体向けプログラムを展開しています。あいちトリエンナーレ 2016 でも同様に展開することとしており、このたび、開幕に先駆けて参加アーティストを学校へ派遣する「アーティスト派遣事業」の第 1 弾を実施します。

この事業は、児童・生徒が現代アートの作品の制作に関わる貴重な機会となります。

1 実施概要

(1) 対象アーティスト

オスカー・ムリーリョ（現代美術）

※学校への訪問は参加アーティストであるオスカー・ムリーリョではなく、作品制作プロジェクトのメインコーディネーターであるクララ・ドゥブランクが行います。

(2) 内 容

オスカー・ムリーリョがコロンビアやインドなど多くの国で実施してきた長期的なプロジェクト「^{フリクエンシーズ}frequenciesプロジェクト」を、県内の小学校（3校）とブラジル人学校（1校）で実施します。プロジェクトチームが子どもたちの机の上にキャンバスを張り、5ヶ月間、子どもたちが普段通りの学校生活の中で自由に思いついたことをキャンバスに描きます。子どもたちの持つ創造性や教室での楽しい雰囲気、子どもたちの成長そのものが記録されたキャンバスは、オスカー・ムリーリョの作品の一部となってトリエンナーレの会場で展示されます。

※「^{フリクエンシーズ}frequenciesプロジェクト」：<http://frequenciesproject.net/#/>

(3) 学校名・日程等

学校名	対 象	日 程	取材可能時間
岡崎市立 ^{はだなし} 秦梨小学校 (岡崎市秦梨町世土田 2)	小学 4 年生、 小学 6 年生	2 月 29 日(月)～ 7 月 22 日(金)(予定)	・開始日の午後 2 時から 午後 4 時 ・最終日 (時間未定)
学校法人カンティニーニョ学園 (豊橋市東岩田 3-1-3) (ブラジル人学校)	初等教育 4 年 生～9 年生 (小学 4 年生～ 中学 3 年生相当)	3 月 1 日(火)～ 7 月 22 日(金)(予定)	・開始日の午前 10 時から 午後 12 時 30 分 ・最終日 (時間未定)
名古屋市立御園小学校 (名古屋市中区錦 1-9-1)	小学 1 年生～ 小学 6 年生	3 月 2 日(水)～ 7 月 22 日(金)(予定)	・開始日の午後 1 時 35 分 から午後 3 時 40 分 ・最終日 (時間未定)
豊橋市立石巻小学校 (豊橋市石巻町西浦 16)	調整中	3 月 4 日(金)～ 7 月 22 日(金)(予定)	・開始日の午後 3 時 35 分 から午後 5 時 ・最終日 (時間未定)

※ 学校への訪問は参加アーティストであるオスカー・ムリーリョではなく、作品制作プロジェクトのメインコーディネーターのクララ・ドゥブランクが行います。また、プロジェクトの性質上、取材は上記「取材可能時間」のみの対応となりますので、ご了承ください。

※ 取材可能時間は変更になる可能性があります。

[取材について]

開始日の取材を希望される場合は、2 月 26 日(金) 午後 3 時までにご社名、取材時間、人数、ご担当者名及びご連絡先(携帯番号)を電話等にてご連絡ください。

最終日の取材を希望される場合は、取材可能時間について別途お問い合わせください。

フリクエンシーズ [「frequenciesプロジェクト」開始日の取材可能時間の行程]

内 容	時 間
子どもたちへのプロジェクトの説明 (作品制作の意図や、子どもたちの描いたキャンバスが現代 アート作品に繋がっていくことなど)	15 分程度
子どもたちの机へのキャンバスの取り付け作業	説明終了後 90 分程度

※ 最終日は、子どもたちの机からキャンバスを取り外す様子をご覧ください。

2 取材申込み先・問合せ先

あいちトリエンナーレ実行委員会事務局 担当：市川・浦野・辻本

電 話：052-971-6127 F A X：052-971-6115

電子メール：geijutsusai@pref.aichi.lg.jp

・対象アーティスト

オスカー・ムリーリョ (Oscar MURILLO) 〈現代美術〉

1986年ラ・パイラ (コロンビア) 生まれ。ロンドン (英国) を拠点に活動。

幼い頃に両親とともにロンドンに移り、同地で絵画を学ぶ。グラフィティ的な作風で知られるが、関心の中心は制作と労働の関係であり、また、作品の完成ではなく時の推移である。スタジオでは染色や裁断、縫製が絶えず繰り返され、大型の絵画をうみだす一方、加工途中の布地も展示会場に山積みされて、芸術活動と労働の切り分けを曖昧にする。また作品表面の古色や経年変化は、制作を作者の意識・制御から放ち、受け手へと開く要素としてしばしば肯定される。彫刻や映像を加えたインスタレーションなど、活動範囲は広いが、常に強調される触覚性は、視覚芸術の拡張であると同様に、ムリーリョのなかでは、労働のリアリティに発することを見逃してはならない。

・第56回ヴェネツィア・ビエンナーレ展示風景 (フリクエンシーズ^{フリクエンシーズ}プロジェクトより)



Installation view, 56th Venice Biennale: All the World's Futures, Arsenale, Venice, 2015

Courtesy the artist and David Zwirner, New York/London Photo: Maris Mezulis